

第6章 自然と調和する住みよいまち

まちなかにみどりがあふれ、そこに人々が集い、思わず歩きたくなる、自然と調和した安全で住みよいまちをめざします。

◆施策体系

1 土地利用
1 計画的かつ合理的な土地利用の推進
2 所沢らしい景観まちづくりの推進
3 基地返還と跡地利用の促進
2 市街地整備
1 所沢駅周辺のにぎわいのあるまちづくりの推進
2 安心・安全に暮らせるまちづくりの推進
3 市街地整備の適正な誘導（良好な市街地整備の推進）
3 道路
1 道路整備の推進
2 幹線道路の建設推進
3 生活道路の整備推進
4 歩行者・自転車環境の整備推進
5 道路環境の維持
4 交通政策
1 交通政策の推進と公共交通の充実
2 鉄道輸送の利便性向上
3 駅の安全性・利便性の向上
5 水道
1 経営基盤の強化
2 水資源の確保と有効利用
3 安全な水の安定供給
4 更新需要と財政収支のバランスのとれた計画の実践
6 下水道
1 自主財源の確保
2 生活環境の改善と公共用水域の水質保全
3 災害に強い下水道整備の推進
4 下水道施設の計画的な老朽化対策
7 住宅・住環境
1 安心・安全で良好な住宅や住環境整備の推進
2 適正な公営住宅の管理・運営
3 住生活の安定と質の向上

第1節 土地利用

◆◆◆評価指標◆◆◆

土地利用に関する施策の満足度		都市計画課					
現状値	目標値	R元	R2	R3	R4	R5	R6
-	-						65
単位:%	実績値	13.3					

土地利用の施策に対する市民満足度を測る指標です。
 市民意識調査における施策の満足度についての設問のうち、「土地利用」に関する項目に対し、「満足」「まあまあ満足」と答えた人の割合です。
 現 状: 令和元年度から新たに設問を設けるため、現状値は空欄です。
 目 標: 令和6年度までに65%をめざすものです。



6-1-1 計画的かつ合理的な土地利用の推進

(千円)

最優先	概要	事業名	担当課	指標	属性	期間		R2	R3	R4	R5
						開始	終了				
		都市拠点土地利用デザイン推進事業	都市計画課		新規			R2	5,000		
						期間:R2~R3		R3	10,000		
								R4			
								R5			
		都市計画基礎調査事業	都市計画課		新規			R2	16,000		
						期間:R2~R3		R3	13,000		
								R4			
								R5			
		土地利用転換推進事業	市街地整備課		既存			R2	605,766		
						期間:H29~R20		R3	529,242		
								R4	441,117		
								R5	484,827		

6-1-2 所沢らしい景観まちづくりの推進

(千円)

優先	概要	事業名	担当課	指標	属性	期間		R2	R3	R4	R5
						開始	終了				
		景観まちづくり推進事業	都市計画課		既存			R2	1,098		
						期間:H23~		R3	966		
								R4	1,098		
								R5	966		

6-1-3 基地返還と跡地利用の促進

◆◆◆事業目標

6-1-1 土地利用転換の達成地区数			市街地整備課					
	H29		R元	R2	R3	R4	R5	R6
現状値	0	目標値	1	2	2	2	2	2
	単位:地区	実績値	1					

土地利用転換の取り組み状況を示す指標です。
 現 状:平成29年度の地区数です。
 目 標:令和2年度までに2地区をめざすものです。



6-1-2 とことこ景観資源の指定件数			都市計画課					
	H29		R元	R2	R3	R4	R5	R6
現状値	196	目標値	199	202	205	208	211	215
	単位:件	実績値	194					

所沢らしい良好な景観の形成に資するものとしての「とことこ景観資源」の指定件数を測る指標です。
 現 状:平成29年度の指定件数です。
 目 標:令和6年度までに215件の登録をめざすものです。



6-1-3 基地返還に関する要望実施件数			企画総務課					
	H29		R元	R2	R3	R4	R5	R6
現状値	2	目標値	2	3	3	3	3	3
	単位:件	実績値	3					

米軍所沢通信基地の返還に向け、米軍及び国に対し返還要望を実施した件数を示す指標です。
 現 状:平成29年度に実施した要望件数です。
 目 標:令和2年度までに3件をめざすものです。



【産業導入を想定する「土地利用転換推進エリア」位置図】



出典：所沢市の工業団地等産業拠点創出と立地意向に関する調査（平成26年12月）の添付資料

第2節 市街地整備

◇◆◇評価指標◇◆◇

所沢駅の1日平均乗降客数		市街地整備課・所沢駅西口区画整理事務所						
現状値	H29	目標値	R元	R2	R3	R4	R5	R6
	102,732		105,000	107,000	109,000	110,000	112,000	114,000
単位:人		実績値	104,984					

本市の表玄関となる所沢駅の利用状況を示す指標です。
 現 状:平成29年度の1日における平均乗降客数です。
 目 標:令和6年度までに114,000人をめざすものです。



6-2-1 所沢駅周辺のにぎわいのあるまちづくりの推進

(千円)

	日東地区まちづくり事業	市街地整備課	指標	既存	R2	734,979
			期間:H17~	R3	278,499	
概要	所沢駅近接の商業地という地区の特性を踏まえ、民間活力により都市基盤の整備と街区の再編を一体的に図る事業を支援・誘導するとともに、安全で快適な都市環境への改善並びに計画的な土地利用を誘導する街づくりを進めるものである。				R4	未定
					R5	未定
	ファルマン通り交差点改良事業	市街地整備課	指標	既存	R2	122,439
			期間:H26~R4	R3	188,171	
概要	所沢東町地区第一種市街地再開発事業で整備する都市計画道路中央通り線(県道久米所沢線)の整備時期に合わせて、ファルマン通り交差点の改良整備を行い、交通処理能力と安全性の向上を図るものである。				R4	88,001
					R5	
最優先	所沢駅ふれあい通り線道路築造事業(1工区)	所沢駅西口区画整理事務所	指標	新規	R2	129,118
			期間:R2~R7	R3	4,154,958	
概要	所沢駅西口土地区画整理事業と連動して、鉄道により分断されている所沢駅東西地区を道路の立体交差により一体化させ、駅周辺の慢性的な交通渋滞の解消や東西市街地の一体化を図るものである。				R4	1,200,007
					R5	1,200,007
	所沢駅西口地区まちづくり事業	所沢駅西口区画整理事務所	指標	既存	R2	1,504,997
			期間:H13~	R3	125,853	
概要	所沢駅西口土地区画整理事業と連動して、地区内における市街地再開発事業を推進する。また、駅周辺地域の回遊性を高めるため歩行者動線の整備・検討を進め、地域間の移動の利便性を図るため、都市計画道路所沢駅ふれあい通り線の整備を推進する。				R4	542,095
					R5	27,801
	所沢駅西口土地区画整理事業	所沢駅西口区画整理事務所	指標	既存	R2	1,800,000
			期間:H28~H37	R3	585,500	
概要	西武鉄道車両工場跡地を含む所沢駅西口地区については、本市の表玄関にふさわしい魅力と活力ある街を創出するため、土地区画整理事業と市街地再開発事業の一体的施行により、都市基盤の整備並びに計画的な土地利用を誘導する街づくりを行う。				R4	463,300
					R5	542,700
重要	所沢駅周辺まちづくり推進調整事業	市街地整備課	指標	既存	R2	6

6-2-2 安心・安全に暮らせるまちづくりの推進

(千円)

最優先	北秋津・上安松地区まちづくり事業	市街地整備課	既存	R2	749,924	
			期間:H25~R12	R3	917,673	
概要	所沢駅近接地区にふさわしい街づくりをめざし、土地区画整理事業を基本に公共施設の整備・改善を図るとともに、既存のまとまりのある貴重なみどりの保全に配慮しつつ、防災面や住環境の向上を図り、安心・安全に生活できる街づくりを行うものである。				R4	495,733
					R5	297,617
優先	狭山ヶ丘土地区画整理事業	狭山ヶ丘区画整理事務所	既存	R2	284,500	
			期間:S62~R3	R3	684,784	
概要	住環境の改善を図るため、道路、公園施設等の公共施設を計画的に整備し、良好な住宅地を供給するとともに、災害に強い街づくりの形成を図ることを目的として、施行面積29.7Haにおいて土地区画整理事業を実施する。				R4	
					R5	

6-2-3 市街地整備の適正な誘導(良好な市街地整備の推進)

◆◇◆事業目標

6-2-1 事業地区を含む周辺の居住人口(御幸町・東町・日吉町・東住吉)		市街地整備課・ 所沢駅西口区画整理事務所						
H29		R元	R2	R3	R4	R5	R6	
現状値	6,594	目標値	6,722	7,437	7,793	7,795	7,797	7,800
単位:人	実績値	6,753						

所沢駅西口まちづくり事業及び日東地区まちづくり事業における周辺地域(御幸町・東町・日吉町・東住吉)に居住する人口を示す指標です。
 現 状:平成29年度における当該地域の人口です。
 目 標:令和6年度までに7,800人をめざすものです。



6-2-2 土地区画整理事業による防災性能の向上を進める面積		都市計画課						
H29		R元	R2	R3	R4	R5	R6	
現状値	169.1	目標値	190	210	230	250	270	290
単位:Ha	実績値	221						

安心・安全に生活できる街づくりをめざして進める土地区画整理事業等の実施により、指定する防火地域、準防火地域の面積を示す指標です。
 現 状:平成29年度の指定面積を示しています。
 目 標:令和6年度までに290Haをめざすものです。



6-2-3 地区計画・建築協定等の策定地区数		都市計画課・建築指導課						
H29		R元	R2	R3	R4	R5	R6	
現状値	37	目標値	39	40	40	42	44	44
単位:地区	実績値	41						

市街地整備の取り組み状況を示す指標です。
 現 状:平成29年度の地区計画・建築協定等の地区数です。
 目 標:令和6年度までに44地区をめざすものです。



※「所沢市PR空撮動画」より

第3節 道路

◆◆◆評価指標◆◆◆

充実した道路環境を要望する人の割合 建設総務課・道路建設課・
計画道路整備課・道路維持課

H29		R元	R2	R3	R4	R5	R6
現状値	56.2	現状値未滿					
目標値							
実績値	20.7						

単位：%

道路環境整備の施策に対する市民要望度を測る指標です。
 現 状：平成29年度の市民意識調査において、今後力を入れてほしい施策として、「道路」に関する項目を選択した人の割合です。
 目 標：毎年度、現状値未滿をめざすものです。



6-3-1 道路整備の推進

(千円)

	概要	事業名	担当課	指標	既存	R2	R3	R4	R5	R6
				期間						
最優先	中心市街地の交通渋滞緩和を図るため、本市の外環状道路に位置付けた国道463号バイパス小手指ヶ原交差点から一般県道所沢堀兼狭山線までの延長5,500mの道路である。これまで延長3,810mが開通し、早期の全線開通に向けて建設を進めている。	北野下富線道路築造事業	計画道路整備課			198,807	801,157	500,000	700,000	
重要	新所沢跨道橋通りから狭山市内の主要地方道所沢狭山線を結ぶ延長2,860mの道路で、計画的な整備により、交通の利便性の向上と交通渋滞の緩和、安全の確保を図る。これまで延長890mが開通し、今後は延長526mの区間の整備を進めるものである。	松葉道北岩岡線道路築造事業	計画道路整備課			44,000	113,523			

	概要	事業名	担当課	指標	既存	R2	R3	R4	R5	R6
重要		道水路座標管理図面作成事業	建設総務課			3,200				
		道水路境界確定事業	建設総務課			3,247				
		所沢駅ふれあい通り線道路築造事業	計画道路整備課			0				
		所沢村山線道路築造事業	計画道路整備課			0				
		和田本郷線道路築造事業	計画道路整備課			0				

6-3-2 幹線道路の建設推進

(千円)

重要	概要	事業名	担当課	指標	既存	R2	R3	R4	R5	R6
		(県)飯能所沢線道路建設促進事業	計画道路整備課			75,780				

6-3-3 生活道路の整備推進

(千円)

	概要	事業名	担当課	指標	新規	R2	R3	R4	R5	R6	
				期間							
最優先	三ヶ島地区の交通の利便性の向上、地域の活性化及び安心・安全な歩行空間を確保するため新設道路を整備するもので、3工区「林運動場」付近から入間市宮寺の県道所沢青梅線「南矢荻」バス停付近までのうち、所沢市分の約368mの区間を整備するものである。	上藤沢・林・宮寺間新設道路築造事業(3工区)	道路建設課			12,200	97,000	82,000	64,000		
重要	「ところざわサクラタウン」を拠点施設とする、半径約500m圏内を重点推進エリアとして位置付けられた「COOL JAPAN FOREST」及びその周辺の交通環境整備を行い、交通の円滑化を図るものである。	COOL JAPAN FOREST 周辺道路整備事業	道路建設課			89,548	65,000	30,000	30,000		

6-3-4 歩行者・自転車環境の整備推進

(千円)

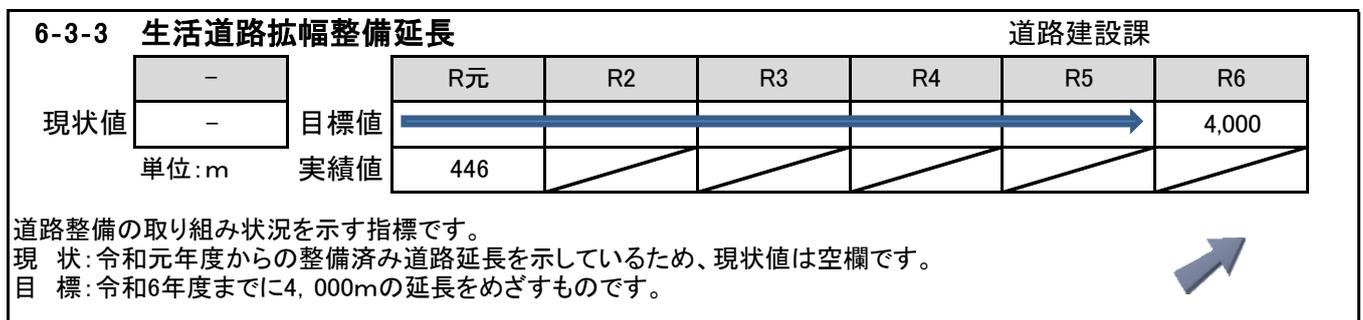
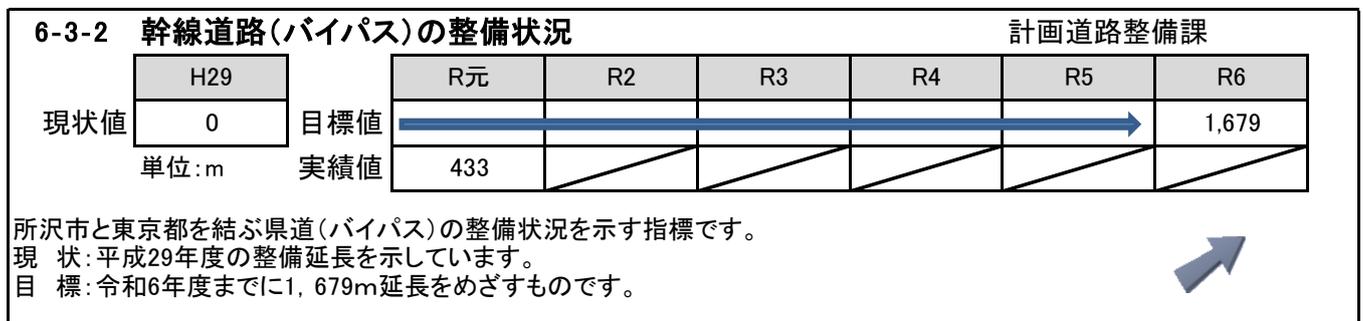
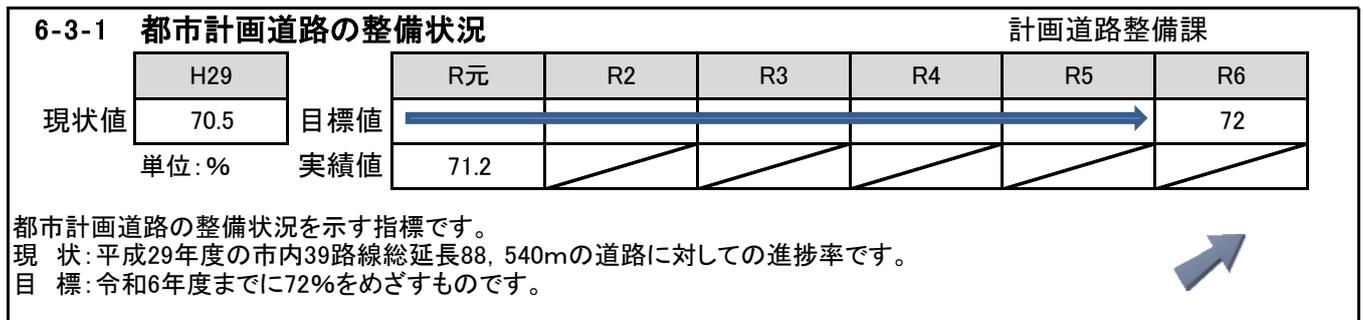
優先	自転車レーン整備事業	道路維持課	指標	既存	R2	14,657
			期間: H29~		R3	0
	概要	歩道内における歩行者と自転車の接触事故軽減を目的として自転車レーンを整備し、安心して安全な道路空間を創出する。令和2年度は、東所沢中央交差点から東所沢四丁目交差点の区間の整備を行うものである。			R4	0
					R5	0
重要	新所沢駅西口駅前広場改修事業	計画道路整備課		既存	R2	0

6-3-5 道路環境の維持

(千円)

優先	橋りょう長寿命化修繕事業	道路維持課	指標	既存	R2	59,010
			期間: H26~		R3	0
	概要	全ての市管理の橋りょうについて、計画的な点検、診断、修繕、記録のサイクルを構築するとともに、維持管理費の縮減及び財政負担平準化を図る。令和2年度は、小手指陸橋ボルト交換等の詳細設計及び橋梁塗膜成分調査のほか、桜淵橋の修繕を行うものである。			R4	0
					R5	0
重要	街路樹管理事業	道路維持課		既存	R2	106,000
			期間: S49~		R3	0
概要	都市景観の形成や防災、環境保全などの機能を持つ街路樹を健全に保つため、定期的に剪定、除草を行う。また、必要に応じて樹木診断を行うなど、適切な街路樹の管理を行うものである。また、「街路樹維持管理指針」に基づき、緑陰確保等の計画を策定する。			R4	0	
				R5	0	
重要	道路照明灯維持管理事業	建設総務課		既存	R2	145,702
	防犯灯維持管理・補助事業	建設総務課		既存	R2	44,290
	道路施設維持管理事業	道路維持課		既存	R2	684,017

◆◆◆事業目標



6-3-4 自転車レーンの整備延長

道路維持課

		H29	R元	R2	R3	R4	R5	R6
現状値		770	3,337	5,907	7,494	9,334	10,474	12,294
	目標値							
	実績値	3,697						

単位:m

自転車レーンの整備状況を示す指標です。
 現 状:平成29年度における進捗状況を示しています。
 目 標:令和6年度までに12,294mをめざすものです。



6-3-5 橋りょう長寿命化修繕の箇所数

道路維持課

		H29	R元	R2	R3	R4	R5	R6
現状値		2	1	1	1	1	1	1
	目標値							
	実績値	1						

単位:橋

橋りょうの長寿命化修繕の箇所数を示す指標です。
 現 状:平成29年度における修繕箇所を示しています。
 目 標:令和6年度までに6橋の修繕をめざすものです。



東京狭山線（下安松工区）



清流苑第二の橋（清流かわせみ橋）

第4節 交通政策

◆◆◆評価指標◆◆◆

交通について不便と感じる人の割合			企画総務課					
現状値	目標値	実績値	R元	R2	R3	R4	R5	R6
-	-	17.3	45	43	41	39	37	35
単位: %								

交通政策の施策に対する市民要望度を測る指標です。
 市民意識調査において、今後力を入れてほしい施策として、「交通政策」に関する項目を選択した人の割合です。
 現 状: 令和元年度から新たに設問を設けるため、現状値は空欄です。
 目 標: 毎年度2ポイントの減少をめざすものです。



6-4-1 交通政策の推進と公共交通の充実

(千円)

最優先	地域公共交通検討事業	企画総務課	既存	R2	32,801
	概要	本市における市内各地域の交通弱者等に対する円滑な交通手段の確保及び利便性を向上させるための対策について、所沢市地域公共交通庁内検討委員会及び所沢市地域公共交通会議等により、地域公共交通の方向性や具体的な施策の検討を重ねている。	期間: H26~	R3	41,016
優先	市内循環バス(ところバス)運行事業	交通安全課	指標 既存	R2	166,753
	概要	平成10年度より公共施設の利便性向上、市内の交通不便地域の解消及び高齢者・障害者等の交通弱者対策を図ることを目的として運行している。令和2年度は、所沢市地域公共交通会議からの答申に基づき、運行コースの抜本的な見直しに向けた検討を行う。	期間: H10~	R3	180,283
重要	交通バリアフリー推進事業	交通安全課	既存	R2	81

6-4-2 鉄道輸送の利便性向上

(千円)

重要	都市高速鉄道12号線導入促進事業	企画総務課	既存	R2	36
----	------------------	-------	----	----	----

6-4-3 駅の安全性・利便性の向上

(千円)

最優先	所沢駅ホームドア整備事業	企画総務課	既存	R2	266,667
	概要	鉄道駅のバリアフリー化の推進及び利用者の安全確保を目的として、鉄道事業者(西武鉄道株式会社)が実施する駅ホームドア設置に係る整備事業費の一部について、「所沢市鉄道駅ホームドア整備事業費補助金交付要綱」に基づき補助するものである。	期間: R元~R2	R3	
最優先	西所沢駅西口改札口開設事業	交通安全課	指標 既存	R2	81,247
	概要	平成17年に改札口開設に関する請願が提出され、市議会で採択されたことなどをを受け、関係機関等との協議を進めてきた。令和2年度は、「西所沢駅西口開設整備計画」に基づき、駅舎及び周辺の安全対策に係る調査・設計等を行う。	期間: H17~R6	R3	未定
				R4	未定
				R5	未定



ところのるところバス

◆◇◆事業目標

6-4-1 市内の地域公共交通(バス)年間利用者数		企画総務課						
H29		R元	R2	R3	R4	R5	R6	
現状値	10,734	目標値	10,754	10,764	10,774	10,784	10,794	10,804
単位: %		実績値	未確定					

市内の地域公共交通(路線バス・ところバス)の充実度を示す指標です。
 現 状: 平成29年度における市内の地域公共交通(バス)年間利用者数を示しています。
 目 標: 毎年度1万人の利用者数増をめざすものです。



6-4-2 市内の鉄道駅の1日あたりの合計乗降客数		企画総務課						
H28		R元	R2	R3	R4	R5	R6	
現状値	413	目標値	419	421	423	425	427	429
単位: 千人		実績値	未確定					

市内の鉄道の充実度を示す指標です。
 現 状: 平成28年度における市内の鉄道駅の1日あたりの合計乗降客数を示しています。
 目 標: 毎年度2千人の乗降者数増をめざすものです。



6-4-3 西所沢駅西口改札口開設事業の進捗度		交通安全課						
-		R元	R2	R3	R4	R5	R6	
現状値	-	目標値	基本協定	設計	設計・工事	工事	工事・開設	
単位: -		実績値	未確定					

西所沢駅西口改札口の開設に関する取り組み状況を示す指標です。
 現 状: 令和元年度から事業目標値修正のため、現状値は空欄です。
 目 標: 令和5年度までに西所沢駅西口改札口の開設をめざすものです。



第5節 水道

◆◆◆評価指標◆◆◆

水道事業に関する施策の満足度			総務課					
現状値	目標値	実績値	R元	R2	R3	R4	R5	R6
-	-	61.0	100	100	100	100	100	100
単位:%								

水道事業の施策に対する市民満足度を測る指標です。
 市民意識調査における施策の満足度についての設問のうち、「水道」に関する項目に対し、「満足」「まあまあ満足」と答えた人の割合です。
 現 状: 令和元年度から新たに設問を設けるため、現状値は空欄です。
 目 標: 毎年度100%をめざすものです。



6-5-1 経営基盤の強化

(千円)

優先	概要	自主財源確保促進事業(長期的債券運用・未利用 地利活用・旧水道庁舎用地利活用・検針票広告)	経営課 窓口サービス課	指標	既存	R2	1,480
				期間: H29~		R3	2,016
		長期的な社会貢献債等の購入・運用のほか、未利用地の売却・貸付け及び旧水道庁舎跡地の貸付けによる水道事業資産の有効活用、検針票への民間事業者等の広告掲載により、自主財源を確保し、企業経営の健全化に努めるものである。				R4	2,297
						R5	1,510
		口座振替促進事業	窓口サービス課		既存 <th>R2</th> <td>546</td>	R2	546
		収納に伴う費用が安価である口座振替への加入を促進し、中長期的に費用の削減を図ることを目的とするものである。公共施設等でのポスターの掲示、啓発文書の配布、納付書払いの契約者に対する個別通知等により、広く市民に広報普及啓発活動を実施する。				R3	546
						R4	546
						R5	546

6-5-2 水資源の確保と有効利用

(千円)

優先	概要	出前教室実施事業	総務課	既存	R2	30		
				期間: H28~	R3	31		
		水道及び下水道の理解を深めてもらうとともに、水の大切さに気付き、地球の環境保全に対する意識を高めることを目的に、市内小学校に上下水道局職員を派遣し、啓発用パンフレット「所沢の水道と下水道」等を使用して、上下水道に関する出前教室を行うものである。			R4	32		
					R5	33		
						R2	11,528	
		取水井保全事業	給水管理課		指標	既存	R3	12,132
		渇水時や災害時などの水源としても活用できるよう、取水井の清掃及び機能診断を行い、地下水の揚水量を確保していくものである。				R4	12,374	
					R5	12,622		
						R2	16,704	
		小水力発電事業	給水管理課		既存	R3	16,704	
		再生可能エネルギーの導入を基本方針のひとつとしている所沢市まちごとエコタウン推進計画の趣旨を踏まえ、東部浄水場内に設置した小水力発電設備により、電力の自己消費に努めるものである。				R4	16,704	
					R5	16,704		
						R2	16,704	

6-5-3 安全な水の安定供給

(千円)

最優先	概要	イメージアップ事業(“ところざわの水”紙パック) 経営課	新規	R2	5,654		
			期間: R2	R3			
		地下水をブレンドして供給する所沢市の良質な水道水をPRするため、ところざわの地下水100%を充填した紙パックを製造するものである。プラスチックごみの削減に向け、環境負荷の小さい紙製容器を用いる試みは、地方公営企業としては全国初の取組である。			R4		
					R5		
						R2	3,853,339
		水道管整備事業	水道建設課		既存	R3	3,399,105
		安全な水の安定供給と災害に強いライフラインの構築を目的とし、平成23年度から所沢市水道事業基本計画に基づき、水道管の耐用年数を考慮し、更新を行うものである。また、必要に応じ、都市計画道路の整備、区画整理の進捗に合わせ、水道管を布設する。				R4	3,413,222
					R5	3,454,178	
						R2	3,853,339

最優先	浄水場整備事業(耐震補強工事)	給水管理課	指標	既存	R2	357,629
			期間: H19~			R3
	概要 浄水場の配水池等について耐震診断を順次行い、耐震補強が必要な場合については、耐震補強設計及び耐震補強工事を実施し、災害に強いライフラインを構築するものである。				R4	190,800
					R5	57,200

優先	イメージアップ事業(ところざわ水物語発行)	経営課		既存	R2	4,511
			期間: R元~			R3
	概要 水道事業の経営状況や施策事業の取組等に関する幅広い情報について、積極的な広報活動を行うことにより「事業の見える化」に努め、公営企業としてイメージアップ等に取り組むものである。広報紙は、年2回を発行する。				R4	4,511
					R5	4,511
浄水場施設・設備更新事業(東部浄水場監視制御装置更新工事)	給水管理課		既存	R2	0	
		期間: H23~			R3	883,476
					R4	
概要 「所沢市水道事業中期経営計画」に基づき、東部浄水場監視制御装置の更新工事を実施するものである。				R5		

6-5-4 更新需要と財政収支のバランスのとれた計画の実践

(千円)

最優先	水道ビジョン策定事業	経営課		既存	R2	10,225
			期間: H30~R2			R3
	概要 平成30年度に実施したアセットマネジメント手法により試算した「現状と将来の見通しの分析・評価等」の結果を踏まえ、将来像を描き実現に向けた計画「所沢市水道ビジョン」及び「水道事業経営計画」を策定し、経営基盤の強化を図るものである。				R4	
					R5	

◆◆◆事業目標

6-5-1 資産の有効活用による収益額		経営課					
		R元	R2	R3	R4	R5	R6
現状値	-	1,074	1,127	1,183	1,242	1,304	1,369
目標値	-						
実績値	未確定						
単位: 万円							

本来業務への影響等を十分に勘案しつつ、事業用地の跡地の売却や貸付など、企業用資産の有効活用を図り、経営の活性化に取り組んでいることを判断する指標です。
 現 状: 平成30年度から事業開始のため、現状値は空欄です。
 目 標: 平成30年度から毎年約5%の増収をめざすものです。

6-5-2 地下水の揚水量		給水管理課					
	H29	R元	R2	R3	R4	R5	R6
現状値	412	350	350	350	350	350	350
目標値							
実績値	未確定						
単位: 万m ³ /年							

年間に汲み上げる地下水の揚水量で、水の安定供給及び地下水の水質を保全するための取り組み状況を示す指標です。
 現 状: 平成29年度に汲み上げた地下水の揚水量です。
 目 標: 毎年度350万m³以上の地下水揚水量をめざすものです。

6-5-3 配水池の耐震化率

給水管理課

H29		R元	R2	R3	R4	R5	R6
現状値	71.7	目標値	74.5	93.5	95.1	100	100
単位:%		実績値	未確定				

水を安定供給するための配水池耐震対策に対する取り組み状況を示す指標です。

現 状:平成29年度までに耐震対策が完了している配水池容量の割合です。

目 標:令和4年度中に100%をめざすものです。



6-5-4 経常収支比率

経営課

H29		R元	R2	R3	R4	R5	R6
現状値	110	目標値	110	110	110	110	110
単位:%		実績値	未確定				

経常費用に対する経常収益の割合を示すもので、財政の健全化への取り組みの成果を測る指標です。

現 状:平成29年度における経営の健全性を示す割合です。

目 標:毎年度、平成29年度の実績値110%の継続をめざすものです。



第6節 下水道

◆◆◆評価指標◆◆◆

下水道事業に関する施策の満足度			総務課					
現状値	目標値	実績値	R元	R2	R3	R4	R5	R6
-	-	56.0	100	100	100	100	100	100
単位：%								

下水道事業の施策に対する市民満足度を測る指標です。
 市民意識調査における施策の満足度についての設問のうち、「下水道」に関する項目に対し、「満足」「まあまあ満足」と答えた人の割合です。
 現 状：令和元年度から新たに設問を設けるため、現状値は空欄です。
 目 標：毎年度100%をめざすものです。



6-6-1 自主財源の確保

(千円)

最優先	概要	事業名	担当課	期間	指標	既存	R2	R3	R4	R5	
							金額				
	全国で開催される「マンホールサミット」の第10回大会を、ところざわサクラタウンで実施するものである。国内外の幅広い層に、日本が世界に誇るクールなマンホール蓋の魅力を発信し、下水道事業のイメージアップと「事業の見える化」を推進する。	イメージアップ事業(マンホールサミット開催)	経営課 下水道維持課	新規	期間：R2		8,868				
	上下水道についての知識・理解を深め水資源の大切さや環境衛生の保全に対する意識を高めてもらうこと等を目的として、市内小学生を対象に、夏休みの自由研究の課題として対応できる時期に市内外の上下水道施設等を見学するバスツアーを実施するものである。	イメージアップ事業(上下水道施設見学バスツアー)	経営課	新規	期間：R2～		114	0	114	0	
	夜間でも道標としての機能をもった発光するマンホール蓋(イルミネーションマンホール)を開発し、有料広告事業の拡大を図るものである。発光の電源はソーラーパネルより得ることで、所沢市マチごとエコタウン推進計画に配慮している。	自主財源確保促進事業(イルミネーションマンホール蓋広告)	経営課 下水道維持課	指標	期間：R元～	既存	1,933	1,024	1,024	1,024	
優先	下水道事業の経営状況や施策事業の取組等に関する幅広い情報について、積極的な広報活動を行うことにより「事業の見える化」に努め、公営企業としてイメージアップ等に取り組むものである。広報紙は、年2回を発行する。	イメージアップ事業(ところざわ水物語発行)	経営課	既存	期間：R元～		4,511	4,511	4,511	4,511	
	上下水道局の公有財産であるマンホール蓋や検針票を広告媒体として活用し、民間事業者等の広告を掲載することにより、財源の確保に努めるものである。	自主財源確保促進事業(マンホール蓋広告・検針票広告)	経営課 窓口サービス課 下水道維持課	指標	期間：H30～	既存	1,747	1,769	1,791	2,209	

6-6-2 生活環境の改善と公共用水域の水質保全

(千円)

最優先	概要	事業名	担当課	期間	指標	既存	R2	R3	R4	R5	
							金額				
	東部クリーンセンター及び西部クリーンセンター周辺地域における生活環境の向上等を図るため、都市基盤の整備を行うものであり、その一環として、下水道整備等を実施する。	清掃施設周辺整備事業	東部クリーンセンター	期間：H10～R4			174,651	141,592	2,486		
	「第1次市街化調整区域下水道整備計画」に基づく第4期整備事業として整備区域の拡大を図るものである。併せて、清掃施設周辺整備事業として環境クリーン部の依頼により汚水管布設を進め、また、若松町土地区画整理事業に係る雨水管整備等を行う。	下水道管渠布設事業	下水道整備課	期間：H15～R6	指標	既存	2,031,637	2,950,293	1,516,630	1,177,780	
重要		受益者負担金賦課徴収事業	下水道維持課			既存	265				

6-6-3 災害に強い下水道整備の推進

(千円)

最優先	下水道地震対策事業	下水道整備課		既存	R2	129,000
			期間: H21~R9		R3	145,042
	概要	所沢市下水道総合地震対策計画に位置付けられた事業として、重要な幹線や緊急輸送道路等に埋設されている管渠やマンホール等の耐震化を進めるものである。			R4	120,043
					R5	125,443
優先	雨水浸透化事業	下水道整備課		指標 既存	R2	44,000
			期間: H30~R9		R3	44,618
	概要	都市化の進展やゲリラ豪雨の増加で下水道による雨水排水が困難な状況となり、市内各所で内水被害が発生していることから被害の軽減を図るため、雨水樹浸透化等を進める。対象地区は、内水被害箇所を記した「内水ハザードマップ」を活用し選定を実施する。			R4	44,746
					R5	44,875
重要	下水道維持管理事業	下水道維持課		既存	R2	2,359,422
	都市下水路維持管理事業	下水道維持課		既存	R2	71,277

6-6-4 下水道施設の計画的な老朽化対策

(千円)

最優先	下水道ストックマネジメント事業	下水道維持課		指標 既存	R2	150,315
			期間: H23~		R3	265,527
	概要	「所沢市下水道ストックマネジメント実施方針」に基づき、予防保全を中心とした計画的な維持管理や改築を行い、事業費の平準化を図るとともに下水道機能を持続的に維持するものである。事業は、改築工事及び新たな地区でのカメラ調査等を実施する。			R4	281,337
					R5	268,689

◆◆◆事業目標

6-6-1 有料広告用デザイン入りマンホール蓋の設置箇所数(累計)		下水道維持課						
	H29	R元	R2	R3	R4	R5	R6	
現状値	10	目標値	20	30	40	50	60	70
	単位: 箇所	実績値	未確定					

広告媒体としてのデザイン入りマンホール蓋設置の進捗状況を示す指標です。
 現 状: 平成29年度は、所沢市文化振興事業団との協定によりモデル事業として取り組んだ設置箇所数です。
 目 標: 毎年度10箇所の増加をめざすものです。

6-6-2 下水道普及率		下水道整備課						
	H29	R元	R2	R3	R4	R5	R6	
現状値	93.7	目標値	94.2	94.4	94.5	94.6	94.7	94.8
	単位: %	実績値	未確定					

生活環境の改善と公共用水域の水質保全の向上を示す指標です。
 現 状: 平成29年度の本市の人口に対して公共下水道を使用できる人口の割合です。
 目 標: 令和6年度までに94.8%をめざすものです。

6-6-3 道路雨水樹の浸透化数(累計)		下水道整備課						
	-	R元	R2	R3	R4	R5	R6	
現状値	-	目標値	240	360	480	600	720	840
	単位: 箇所	実績値	240					

雨水を地下に浸透させることにより地球に優しく、さらに、雨水流出抑制を図り、浸水被害の軽減につながる道路雨水樹浸透化の状況を示す指標です。
 現 状: 道路雨水樹の浸透化は平成30年度からの新規事業のため、現状値は空欄です。
 目 標: 毎年度120箇所の浸透化の増加をめざすものです。

6-6-4 下水道管渠の更生※・布設替工事延長(累計)

下水道維持課

		H29	R元	R2	R3	R4	R5	R6
現状値	目標値	214	644	870	1,588	2,308	3,018	3,728
	実績値	799						

単位:m

長寿命化のための更生・布設替工事延長を示す指標です。
 現 状:平成29年度に実施した工事延長を示しています。
 目 標:令和6年度までに3,728mをめざすものです。
 ※既設の下水管内面に新たに管を構築する工法です。



デザイン入りマンホール蓋

第7節 住宅・住環境

◆◆◆評価指標◆◆◆

住宅・住環境に関する施策の満足度				都市計画課				
			R元	R2	R3	R4	R5	R6
現状値	-	目標値	66	66.5	67	67.5	68	68.5
	-		実績値	42.9				
単位：%								

住宅・住環境の施策に対する市民満足度を測る指標です。
 市民意識調査における施策の満足度についての設問のうち、「住宅・住環境」に関する項目に対し、「満足」「まあまあ満足」と答えた人の割合です。
 現 状：令和元年度から新たに設問を設けるため、現状値は空欄です。
 目 標：令和6年度までに68.5%をめざすものです。



6-7-1 安心・安全で良好な住宅や住環境整備の推進

(千円)

優先	概要	事業名	担当課	既存	R2	3,000
				期間：H19～	R3	3,000
		我が家の耐震診断・耐震改修補助事業	建築指導課		R4	3,000
					R5	3,000
		危険ブロック塀等撤去改善事業	建築指導課	既存	R2	3,000
				期間：H30～R2	R3	
		概要	平成30年6月の大阪府北部を震源とする地震により、小学校の塀が倒壊し犠牲者が出たことを受け、市内に存する危険なブロック塀等を撤去し、早期に改善を図るため、その所有者が実施する工事費の一部を補助する。		R4	
					R5	

6-7-2 適正な公営住宅の管理・運営

(千円)

最優先	概要	事業名	担当課	指標	新規	R2	54,670
				期間：R2	R3		
		市営住宅泉町団地2号棟施設整備事業	市街地整備課			R4	
					R5		
		市営住宅運営事業	市街地整備課	指標	既存	R2	190,190
				期間：S27～	R3	188,334	
		概要	住宅に困窮する低所得者に良好な居住環境と低廉な家賃の住宅を提供するため、管理代行による市営住宅の適正かつ効率的な運営や市営住宅の借り上げ事業等を行うものである。			R4	188,996
					R5	192,867	

6-7-3 住生活の安定と質の向上

◆◆◆事業目標

6-7-1 長期優良住宅・低炭素建築物等計画の認定件数				建築指導課				
	H29		R元	R2	R3	R4	R5	R6
現状値	280	目標値	250	250	250	250	250	250
	単位：件		実績値	未確定				

環境に配慮した住宅施策の成果を測る指標です。
 現 状：平成29年度の長期優良住宅・低炭素建築物等計画の認定件数を示しています。
 目 標：毎年度250件以上をめざすものです。



6-7-2 市営住宅の入居戸数

市街地整備課

		H29						
		773	R元	R2	R3	R4	R5	R6
現状値	目標値	773	777	779	781	783	785	787
単位:戸	実績値		未確定					

市営住宅の有効活用に向けた全797戸中の入居戸数を示す指標です。

現 状:平成29年度の入居戸数を示しています。

目 標:令和6年度までに787戸をめざすものです。



6-7-3 マンション管理無料相談会における相談受付件数

都市計画課

		H29						
		19	R元	R2	R3	R4	R5	R6
現状値	目標値	19	25	28	31	34	38	42
単位:件	実績値		未確定					

マンション管理士による民間マンション居住者等への支援施策の成果を示す指標です。

現 状:平成29年度の相談受付件数を示しています。

目 標:令和6年度までに42件をめざすものです。



市営住宅（新所沢けやき通り団地）



市営住宅（泉町団地）